

# KYO wave

キョーウェーブ

2024 SPRING



◆巻頭特集

きもの産業改革 パートⅡ

「流通改革」

取材録「次代につなぐ」

京友禅きもの芸術展

きものサローネ 2023

TOKYO KIMONO COLLECTION

第3回 KIMONOIST授賞式

全国和装関連企業

売上高ランキング

# 第16回 現代手織物クラフト公募展

現代手織物クラフト公募展  
 実行委員会は織の財団（宇治市伊勢田町新中ノ荒 41-2、山田標件理事長）、駒ヶ根シルクミュージアム（長野県駒ヶ根市東伊那 482）と共催で現代手織物クラフト公募展を開催した。

## 駒ヶ根シルクミュージアムで開催

公募展は全国で独自の創作活動をしている織物のプロ、および将来プロを目指す人たちが創作した独創的で優れた織物作品を展覧し、広く愛好家に向けて紹介するとともに、自立の道を拓く支援の場となることを目的に駒ヶ根シルクミュージアムで開催し、16回目（最終回）を迎えた。

応募作品は着物（仮絵羽）、丸巻反物、八寸帯、九寸帯、タペストリー。制作後2年以内の手織物で、素材は天然繊維。今回は9月15日に手塚山大学名誉教授、植村和代氏、伝統織物指導作家、吉田紘三氏、染織と生活社編集長、佐藤能史氏、駒ヶ根シルクミュージアム顧問、関宏夫氏の4人が厳正な審査を行い、グランプリ（長野県知事賞）に青森県の藤原史華氏作の絵羽着物「しののめ」他全5点の入賞作品、40点の入選作品を選定。45点の作品が第62回特別展として令和5年10月26日から12月3日まで館内に展示された。その中から誌面では入賞作品5点、入選作品着物12点を紹介する。

この公募展は手織物だけに限定した唯一の公募展で、登竜門として全国から織物作家を目指す人の応募も多く、制作の励みになってきた。しかし、諸般の事情により16回続けてきた公募展は今回開催が最終回となった。



### グランプリ（長野県知事賞）

藤原史華（青森県） 絵羽着物  
しののめ



### 準グランプリ（駒ヶ根市長賞）

永井恵子（京都府） タペストリー 裂織  
「きになる木・II」



織の財団賞

小島久美子（大阪府）  
反物  
いつか見た夕空



信濃毎日新聞賞

住谷晴美（兵庫県）  
八寸帯  
春の光



駒ヶ根シルクミュージアム館長賞

堀 真澄（千葉県）  
九寸帯  
しゃぼん玉

# 入選作品（着物）



水面に映る 渡邊なをこ（岡山県）



静寂の星 田中かほる（京都府）



草萌 山田佐並（長野県）



沈香茶 大海静里奈（奈良県）



薔薇の咲く庭 浅野裕子（長野県）



虹さす静かな世界 戸田千晶（愛知県）



桜梅桃李 片野昌子（大阪府）



夢叶 小川美優（奈良県）



夏の夜の雨 黒米袖香（奈良県）



はばたき 鶴見純子（栃木県）



風薫る 服部節子（愛知県）



湖畔のひととき 金田一尚子（愛知県）

京都工芸染匠協同組合

# 京友禅きもの芸術展



【経済産業大臣賞】(有)成謙工房謙蔵

## 第40回工芸染匠作品展覧会

京都工芸染匠協同組合（京都市中京区六角通新町西入、竹鼻進理事長）は、10月13、14日、中京区のウイングス京都1階ギャラリースペースで京友禅きもの芸術展「第40回工芸染匠作品展覧会」を開催した。工芸染匠作品展覧会は、京友禅の技術・技法向上と宣伝に努め、本物の良さを一般に広くPRするために毎年開催。出展作品のすべてに手描友禅技法が施されているのが最大の特徴で、組合加盟の各染匠が特色あるもの作りを行い、技術を競った。フォーマル用途が主体の手描友禅業は、コロナ禍の影響で非常に厳しい状況にあるなか、この展覧会に向けて意欲的にもの作りに励み、今年は68点の京手描友禅（振袖・訪問着・留袖・色留・付下げ・着尺・帯等）が出品、経済産業大臣賞の総模様、長物着尺の両部門に成謙工房が、裾模様部門に木村染匠が選ばれた他、各賞が選定された。この受賞作品24点を誌面にて紹介します。



【近畿経済産業局長賞】(有)中川正商店



【経済産業大臣賞】木村染匠(株)



【近畿経済産業局長賞】京友禅 高橋啓



【経済産業大臣賞】(有)成謙工房謙蔵



【京都府知事賞】室染織



【近畿経済産業局長賞】吉川染匠(株)



【京都市長賞】染匠市川(株)



【京都府知事賞】三興染工



【京都市長賞】夕ヶ八十染匠



【京都府知事賞】染匠市川(株)



【京都市芸術文化協会理事長賞】 室染織



【京都市長賞】 侘染の三喜



【京都市産業技術研究所所長賞】 タケハナ染匠



【京都商工会議所会頭賞】 木村染匠(株)



【京染会賞】 (株)桂川染匠



【伝統的工芸品産業振興協会会長賞】 侘いち川



【京都新聞社賞】(株)雅染匠



【京都織物卸商業組合理事長賞】(株)京染せい山



【染織新報社賞】(株)桂川染匠



【みやこ女将の会賞】(有)藤沢刺繍



【NHK京都放送局長賞】藤理工芸(株)



【みやこ女将の会賞】(有)中川正商店



【美しいキモノ賞】(株)白木染匠

# 京都・ミスきもの

# 京都きもの オーディション2024

午前  
の部



南井萌果さん 角島梨理香さん 矢部粋さん 岡口万海さん 奥田桃佳さん 松本梨沙さん 堀亜子さん 山川結子さん 矢田華歩さん 平田千華さん

和装関連7団体が構成する京都きものオーディション開催委員会（高田啓史会長）は京都経済センター6階会議室で和装振興と観光都市・京都のPR推進のため、さまざまな行事やレセプションにおいてきもの姿でアテンドできる優秀な人材を発掘、育成を目的に「2024年京都・ミスきもの」を選出する「京都きものオーディション」を開催した。昨年12月9日に行われた第一次選考会には府内在住、通勤・通学する未婚女性80人が応募し、書類審査通過者79人を対象に面接と公開オーディション（立居振舞）で審査が行われ、午前と午後の審査で各10人合計20人が選ばれた。入賞者は、きものや帯に関する知識、着付けやきもの扱い方等6テーマから成る研修を受講し、本選考会に臨んだ。

一次選考入賞者に本選考会に向けての意気込みや抱負を聞いた。

## 午前の部（10人）

### ◆平田千華さん（30歳 会社員）

より深く京都について考える機会を頂き、ご縁に感謝しております。古き良きを守り、新しい物を取り入れる。長い歴史が紡ぎ出す日本文化と和装の在り方について学びながら、自らも積極的に様々な所に足を運び、京都の良さを発見、発信して参りたいと思います。

### ◆矢田華歩さん（18歳 学生）

これから本選考に向けて研修に、期待と

不安の両方を感じています。ですが研修を通して、きものへの知識や興味がより洗練されることを願います。そして本選考では、例え緊張しても学んでことを忘れずに、秀麗な姿でいられるよう努力をしたいと思っています。

### ◆山川結子さん（20歳 学生）

生まれ育った街である京都できものについて学ぶ機会を頂けたこと大変幸甚に存じます。きものに袖を通したあの初心の気持ちをお忘れず、学ぶにつれ新たに増えるきもの知識ときものへの思いを大切に、魅力を沢山の方々に発信できるよう精進してまいります。

### ◆堀亜子さん（20歳 学生）

曾祖母が京都まで足を運び選んだ反物を、和裁を教える祖母が仕立てた成人式のきもの。受け継がれたきものを着ると、身が引き締まりました。世代を越え、長く大切に着られることはきもの大きな魅力です。研修会できもの文化を学び、魅力を自分の言葉で表現し、発信していきます。

### ◆松本梨沙さん（23歳 学生）

大好きなきものをこれからもっと深く学べることで、とても幸せです。わたしの人生の中で、とても大きな挑戦と経験になることにわくわくが止まりません。学べることや関わるすべての方に感謝の気持ちを忘れずに精進したいです。

### ◆奥田桃佳さん（21歳 学生）

この度は生まれ育った京都で、大好きなきものについて学ぶ機会を頂けたこと大変感謝しております。これからの研修などを通して、きものについての理解を

深め、正しい情報の発信に貢献できよう、仲間と共に精進して参ります。

### ◆岡口万海さん（20歳 学生）

二十歳になり初めて振袖を着たときの凛とした気持ちは今でも忘れることができませぬ。今回、歴史ある京都できものについて深く学ぶ機会をいただけること大変感謝しております。私が感じた京都ときもの魅力を多くの方に知っていただけよう邁進して参ります。

### ◆矢部粋さん（20歳 学生）

人生の節目に今まできものを着てきました。きものを着ると毎回背筋が伸びていつもよりかっこいい自分になれる気がします。「私らしく」をモットーに、時代を超えて受け継がれる日本のきもの素晴らしさや美しさを伝えられるミスになれるよう、楽しみながら取り組みたいと思っています。頑張ります！

### ◆角島梨理香さん（20歳 学生）

世界中から憧れられている京都という地で、日本らしさを象徴するきものについて学ぶ機会を頂けたことに感謝致します。周囲の方々と共に研修でしっかり学び、1人でも多くの方にきものファンになって頂けるよう努めてまいります。

### ◆南井萌果さん（21歳 学生）

由緒ある京の地で、きもの文化について学べる貴重なご縁に感謝致します。きものには、身に着ける人の真の美しさを引き出し、周りの人の目を惹く素敵能力があると考えております。本選考に向けてひたむきに学び、京都やきもの魅力発信に尽力します。



宮井佐知子さん 内海友梨子さん 岡野汐里さん 内藤菜奈さん 榎本季里さん 村上智美さん 小野真凜さん 山中祐佳さん 木崎礼菜さん 城川紗弥さん

午後の部 (10人)

◆城川紗弥さん (20歳学生)

私はミスきものとして選んでいただけたように、きもの知識を多く得たいと考えております。歴史と深く関わる京都で、研修会で学んだ知識をたくさんの方に伝え、日本を代表するきもの文化の魅力を広め、きものを着たいと思う人を増やすことを目指します。

◆木崎礼菜さん (22歳学生)

この度は、連綿と受け継がれるきものについて学ぶ貴重な機会をいただいたことに、感謝の気持ちとともに、大変嬉しく、身が引き締まる思いです。大好きなきものを通して、より多くの人に京都ときもの魅力を知っていただけるよう、仲間とともに精進してまいります。

◆山中祐佳さん (21歳学生)

生まれ育った大好きな京都できものについて学ぶ貴重な機会を頂けたことに感謝しております。流行り廃りのなく、受け継がれるきもの伝統に大きな魅力を感じております。この経験を活かし、伝統あるきものを多くの方に発信できるように精進してまいります。

◆小野真凜さん (21歳学生)

このような貴重な機会を頂けることに、大変感謝しております。6回の研修を通して、きものや京都についての学びを深め、学んだことを知識として身につけられるよう精進してまいります。また、京都ときもの良さをより多くの人に発信できるように努めてまいります。

◆村上智美さん (20歳学生)

きものについて学ぶ貴重な機会をいただいたことに大変感謝しております。今回学ばせていただくことを自分自身にしっかり落とし込み、きもの文化が日本のみならず、世界中でさらに注目されるものとなるよう日本の伝統を繋げていきたいと思っております。

◆榎本季里さん (20歳学生)

大好きな京都で、このような貴重な機会をいただいたことを大変喜ばしく思っております。研修会を通じ自身の学びを深めると共に、日本人が長きに渡り受け継いできたきもの文化をより多くの人に身近に感じていただけるよう広報活動に努めて参ります。

◆内藤菜奈さん (19歳学生)

生まれ育った伝統ある京都で、きものについて学ぶ機会を頂けたことに感謝致します。この貴重な経験から学んだ知識を活かし、京都の伝統や文化、きもの魅力を国内外はもちろんのこと京都の幅広い年代の方にも発信できるように精進してまいります。

◆岡野汐里 (21歳学生)

美しいきもの文化を楽しむことができる京都で、このような貴重な機会を頂き、大変感謝しております。研修を通してきものについて深く学び、沢山の知識を身に付け、より多くの方々にもきものと京都の魅力を知っていただけるように尽力いたします。

◆内海友梨子 (30歳会社員)

デザイナーとして日本の伝統文化を体

感・発信する為に京都へ移住して参りました。この様な機会を頂き光栄に思います。世代や国籍を問わず「きもの輪」を広げる事を目標とし、仲間達と共に真摯に研修に向き合い、知識と発信力を高めるよう精進して参ります。

◆宮井佐知子 (21歳学生)

幼い頃から毎年祖母に浴衣を着付けて貰っていた経験からきものに興味を持ち、大学から着付を習い始め、今ではきもの魅力や奥深さに心を奪われています。この魅力をより多くの人に伝えられるよう、このような素敵な機会と出会いに感謝しながら、精進して参ります。



2023

# 京都・ミスきもの

石田杏奈さん、長谷川玲美さん、宮田葉滴さん、中野晶さん、にインタビュ―



石田杏奈さん、長谷川玲美さん、宮田葉滴さん、中野晶さん

2024年3月末で1年間の任期を終える2023京都・ミスきものは、京都からきものと京都の魅力在全国に発信する役目を担い精力的な派遣活動を行った。その活動の中で貴重な経験を積み重ね一回りも二回りも成長を遂げた4人に1年間の派遣活動を振り返り、感想や思い出、そしてこれからのきもの振興などを聞いた。

## ◆きものが好きになっただきっかけは

**石田** 高校から続けている茶道がきっかけです。きものを着てお客様の前に出ると、自然と背筋が伸び、凛とした美しい立ち居振舞いが出来るようになったことから、きものに惹かれるようになりました。

また外国の方をおもてなした際に、きものをすごく喜ばれました。きもの美しさというのは国や言語の壁を越えて伝わるのだなと感動しました。

**長谷川** 1番のきっかけは成人式です。幼い頃から祖母の影響できものを身近に感じておりましたが、成人式で昔から受け継がれている振袖を着たことです。街中でたくさんの方に『綺麗』や『素敵』といったお言葉をかけていただき、わくわくした気持ちや私自身も華やかな気持ちになることが出来ました。それを機に、着る機会の限られている振袖をもっと着られたらなと思うようになりました。

**宮田** 京都への憧れの気持ちと、京都の街並みを引き立てるきものという存在に惹かれたことです。着ていく場や会う人に対する想いを、柄や着こなしで表現できることを学び、その奥ゆかしさと面白さからきものが益々好きになりました。

**中野** 小学生の頃に茶道を習っており、お茶会





で初めて小紋を着付けていただいたことが大きなきっかけです。その際の背筋が伸びるような晴れやかな気持ちを忘れられず、大人になってから着付けを学び始めました。着付けの過程に、洋服を着るときには感じ得ない奥深さがあるところもきもの魅力だと思っており、自分で着付けができるようになってからは、さらにきものが好きになりました。

◆印象に残ったイベントを教えてください

石田 旧三井家下鴨別邸にて大都市観光協会連

絡協議会の研修会に参加させて頂いたことです。私がお茶室で茶道体験のお手伝いをしました。茶道を続けていた経験が活かせて嬉しかったです。日本中から集まった観光協会の方々と交流し、観光都市としての京都の魅力を実感させて頂けたと思います。



長谷川 長野県松本市にある井上百貨店で開催された京都物産展『第40回京都のれん市』です。4月15日でしたので、2023京都・ミスきものとしての初仕事であり、私自身初派遣でした。1人で遠方派遣、そして初めての活動だったので、どのようにしたら良いのかわからず不安でいっぱいでしたが、松本市の皆さまもとても心温まるお言葉をかけてくださり、多くの方々との交流や京都のおすすめをお話することができ、とても楽しく、印象に残っております。

宮田 特にIGF (Internet Governance Forum) 2023が心に残っています。国連主催大会に、きもの文化振興のために設けられた、海外の方向けの着付け体験と記念撮影のブースに参加しました。海外でもきものに対する関心が高いこと、直接見たり着用することできものが素晴らしいと感じていただけていることを肌で感じ、「きもの文化を海外へ伝えたい」という思いをさらに深める機会となりました。

中野 仙台三越で開催された「大京都展」のPR

にお伺いしたことが、最も印象に残っております。沢山のお客様が「素敵なお振袖ですね」「毎年楽しみにしています」と温かいお言葉をかけてくださり、京都やきものが地域を超えて愛されていることを実感し、大変嬉しい気持ちになりました。京都からお越しになったお店の方々も、いきいきと出店されており、京都の自慢の食や工芸品が一堂に会した光景にワクワクしました。生中継や館内放送など、緊張する場面もございましたが、関係者の皆様が優しくサポートしてくださり、とても素敵な思い出として心に残っています。

◆ミスきもの任期が終わった後、きものとう向き合っていますか

石田 振袖を着る機会は減ると思うのですが、代わりに小紋や訪問着など、よりカジュアルなきものコーディネートを楽しみたいと思います。私は琵琶を習っておりまして、演奏会の時に曲のイメージに合ったきものを着て演奏出来たら素敵だなと思います。

長谷川 この先もずっと何らかの形できものと関





わたることができればと思っております。きもの良さを伝えると共に、実際に着て楽しんでいただきたいと思っております。着付けの資格を取り、自分の着付けだけでなく他装を習得し、着付け師としても携わっていただいております。

**宮田** 私自身、もう一度きものや和装について基本を学び直したいと考えています。活動を通じて、きものことが一層大好きになった反面、もっと教養があったら楽しめたはず...と歯痒さを感じたことも少なくありません。きもの文化検定に挑戦して知識を深める、着付けを学び直す、と正面から向き合いたいです。

**中野** 京都・ミスきもの活動に携わる中で、きものへの想いが深まると同時に、後継者不足や購入者の減少など、和装業界が直面する現状を知りました。日本そして京都の大切な伝統であるきもの文化をどのように後世に受け継いでいけるのか、私たちの世代が考えていく必要があると痛感しました。自分自身が今後もたくさんきものを着たり、学んだことをSNSで発信したりすることで、私なりの方法できものの魅力を多くの方にお伝えできればと考えております。

**◆若い人にきものをアピールしてください**

**石田** まず第一に、きものは可愛いです。洋服と全く違うので最初はハードルが高いように感じるかもしれませんが、家族がきものを沢山持っているたり幼い頃からきものを着ていたというわけではなかったもので、最初はきものを着ることに尻込みしていません。ですが、茶道をきっかけにしてきものを着るのに慣れていくと、その魅力に虜になりました。きものを着る機会をどんどん作って、きもの可愛さを実感してほしいです。今ではきものにブーツを合わせたたり、インナー



に洋服を着たりと多様なコーディネートが受け入れられています。ご自分が可愛いと思う好きな組み合わせできものを着てほしいです。

**長谷川** きものを着ると自然と背筋が伸び、内面からの美を引き立ててくれるところが魅力の一つです。

また、背筋が伸びることで悪くなりがちな姿勢も改善され、肩こり予防や腰痛予防、冷え性対策も出来て、健康面に良いところがたくさんあります。季節や行事をさらに楽しむことが出来るので、是非きものを楽しんでいただけたらと思います。

**宮田** きものは意外と手軽に着られるものであることを伝えることが大切だと思います。きものにしても興味がある方で、特に若い方は、金銭面や時間的制限等から、興味があっても着始めるのにハードルを感じている方も多いのではないかと思います。しかし現在は、レンタルショップやリサイクルショップできものを入手できたり、着付けの方法はYouTubeに載っていたり、着付けの簡単な簡略式のきものまで販売されています。興味があつてもある方は、ご自身のできる範囲からきものに触れていただけると嬉しいですね。きつと触れるうちにきものももっと好きになると思います。

**中野** きものは洋服と比べて、決まりが多く敷居が高いイメージがあるのではないかと感じています。しかし、それは先人の知恵がまつているからこそ



だと思えます。たとえば、「羽織を着るのは、紅葉が色づき始めたことから桜が散るまで」と言われていますが、これも日本各地の寒暖差に柔軟に対応するために先人が生み出した習慣です。ひとつひとつの「決まり」の意味を楽しみながら知っていくことで、よりきものを身近に感じていただけるのではないかと考えます。

そしてなんとといっても、京都はどこよりもきもの姿が似合う街だと思っております。素敵なレンタル着物のお店も沢山ございます。まずは京都の観光地を訪れる際などに、気軽にきものにチャレンジし、「きものっていいな」と二人でも多くの方に感じていただけると幸いです。



KIMONO SALONE 2023

TOKYO

KIMONO COLLECTION

【演出】 伊藤太一・田中成子 (有限会社ユーギルド)

【ヘアメイク】 鎌田由美子、資生堂ビューティークリエーションセンター

【着付け】 吉村澄子、仲山裕子、鈴木三恵子、須田久美子、花影きもの塾

【プレス】 佐藤恵子・徳永礼子 (有限会社プロスペール)

【MODELS】 魚住光生 黒田瑞貴 源崎トモエ スコットつばめ 森下祐未 玲奈 ZOE

【撮影】 富島達博



きものサロネ 2023 ランウェイイベント「TOKYO KIMONO COLLECTION」が9月30日土曜日、室町三井ホール (coredo 室町テラス3階) で開催された。

ショーは京都から3メゾンが参加。「最新のファッションとしてのきもの、誰もが着てみたいと思うきもの、お出かけのチョイスの選択肢の一つになるきもの」そんな気持ちを込めて制作した新作がランウェイを歩いた。



1stSTAGE は綺萌野「青野保夫」。「きものはファッション、女性を素敵にしたい想いで作品作りをしています。今回は『和装と洋装の融合と混沌』をテーマに自己表現のアイテムとしてのきものを制作しました」と青野氏。バックミュージックはもちろん BEATLES。オープニングから男女ペアのモデルが満面の笑顔で登場し、音楽にはじけながら街を歩くおしゃれでかっこいいきものが登場した。

2ndSTAGE は初参加のとなみ織物。西陣の老舗帯地メーカーが帯にとどまらずオールラウンドなきものを制作しコレクションに初お目見えした。アイテムも豊富なバリエーションで、オープニングはおしゃれな小紋、次いで西陣御召、奄美大島の西村絹織物と共同で制作した大島紬、そして美しさがひときわ冴える訪問着。コーディネートする帯はもちろんとなみ織物オリジナルの帯。伝統を守りつつ、現代にマッチするおしゃれなきものが登場した。

3rdSTAGE は JOTARO SAITO。きものを最新モードに高めた斉藤上太郎。今年のテーマは「PARTY」。7月に4年ぶりに開催された隅田川花火大会を見た上太郎氏は「数年間の鬱積を晴らすかのような見事な花火。足元には百万人超の観衆。瞬間的に新しい時代の幕開けを肌で感じた。この新しい世界の幕開けを皆さんと共有したい」そんな気持ちで今回のタイトルを名付けた。ショーはきもの20スタイルが登場したが、今回は大きなこだわりを持ち、12スタイルはきもの着装の上にもう1点のきものを羽織って登場、さらにメンズ、レディス共羽織着装が4点と16スタイルが羽織物を付けたショーは見ごたえ十分だった。



1st STAGE 青野保夫





2nd STAGE となみ織物

TOKYO KIMONO COLLECTION



3rd STAGE JOTAROSAITO

# キモノノイスト



伊藤健太郎

溝端淳平

藤原紀香

高島礼子

## 第3回 KIMONOIST (キモノイスト) 授賞式 10月17日、東京霞が関の霞山会館で開催

キモノイスト実行委員会は未来のキモノの発信者、新しく進化する未来の「キモノ」を着てほしい人に贈られるアワード「キモノイスト」の第3回授賞式を、10月17日、霞山会館、霞山の間（東京都千代田区霞が関三丁目2-1、霞が関コモンゲート西館37階）でキモノイスト授賞式を開催した。

「キモノイスト」は「未来のキモノ」を示唆し、きものを最新のスタイルでありモードファッションとして発信を担うアイコンを実行委員会が選考し、進化する日本の伝統や文化を生活様式に写し取る新時代の生き方、楽しみ方を提案できる方々に「キモノイスト」の称号を贈った。

今回の受賞者は俳優の伊藤健太郎さん、女優の高島礼子さん、女優の藤原紀香さん、俳優の溝端淳平さんの4人（50首順）。受賞者は溝端さん、



伊藤さん、藤原さん、高島さんの順に登壇。トロフィーが授与され、受賞理由、そしてこの日のために製作された世界で1枚だけのきものものの紹介が行われ、ランウェイウオーク。受賞者からの感想とトークセッションが行われ、それぞれがきものに対する思いなどを語った。最後は受賞者4人がフォトセッションに揃ってアワードを締めくくった。

キモノイスト実行委員会は総合スタイリスト齊藤上太郎（株）三才代表取締役と天野謙滋（株）ジョージクリエティブカンパニー代表取締役／池坊美佳 華道家／太田雄貴 国際フェンシング連盟副会長／鎌田由美子（株）資生堂シニアヘアメイクアップアーティスト他各界の著名人11人の委員で構成している。

撮影：成川佳子



# きものサローネ 2023

KIMONO SALONE 2023

東京国際フォーラム E で 11月4日(土)、5日(日)開催

きものサローネ実行委員会(柴川義英実行委員長)は第11回きものサローネ2023を11月4日(土)・5日(日)の2日間、東京国際フォーラム E で開催した。会場には2日間で延べ1万人のきものファンが訪れ、メインテーマの『アタラシイに逢いに行く』を目指して会場に足を運んだ。



きものサローネは「きものマルシェ」、「きものカーニバル」、「ステージ」と多彩なイベントできものファンが終日楽しめる空間。「きものマルシェ」はきものの大緑日、143のブランドショップが大集合して自慢の最新着物や帯はもちろん、小物や和雑貨に至るまでおしゃれで可愛いアイテムが勢ぞろい。出展者は当日まで SNS 等で発信。これを目当てにオープンの10時前には開場待ちに約200人のファンが列を作り開場と同時に目当てのブースに小走りで行っていった。ブース出展のクリエイターはこの日のために作った『アタラシイ』ものや限定品、目玉商品を用意し、国際フォーラムは熱気あふれる会場となった。そして「きものカーニバル」は学生が若い感性で作った学生きもの優秀作品展、ブース出展者が提案したトルソーコーデなど見て楽しむコーナーが用意された。



## キモノイスト DAY がサローネにやってきた

特設ステージで行われるステージイベントはファッションショーやトークショー、邦楽の演奏など多彩なステージが行われたが、今年のアタラシイは実行委員斉藤上太郎氏がコーディネーターを務める「キモノイスト」とのコラボ。第3回「キモノイスト DAY」がサローネ会場にやってきた。ステージ横に受賞者に提供されたキモノが展示され、キモノイストスポンサーブースの開設。そして、初日のステージでは SNS できものインフルエンサーとして有名なりょうたすさん、さんかくさんに上太郎氏が加わり、日本舞踊家の尾上博美氏の司会でトークショーが行われた。2日目はスポンサー企業の近江屋、オリエンタルダイヤモンド 2 社と JOTAROSAITO、3 メゾンによるファッションショーが行われ、さらに受賞者、溝端淳平さんをゲストに迎え斉藤上太郎さんとトークショーが行われた。溝端さんは「時代劇などできものはどちらかというと形式にとらわれた堅苦しいイメージだったが、このきものを着て形式にとらわれず、気楽に着ることが出来るものだと感じました。これからはきものを気楽に着て出かけてみたい」と話し、上太郎氏は「溝端さんのような有名な方が今回の受賞で現代のきものは形にとらわれず、自由な発想で着られるもの、ファッションの一つの選択肢だと理解してくれたことがキモノイストの目的です」と話した。

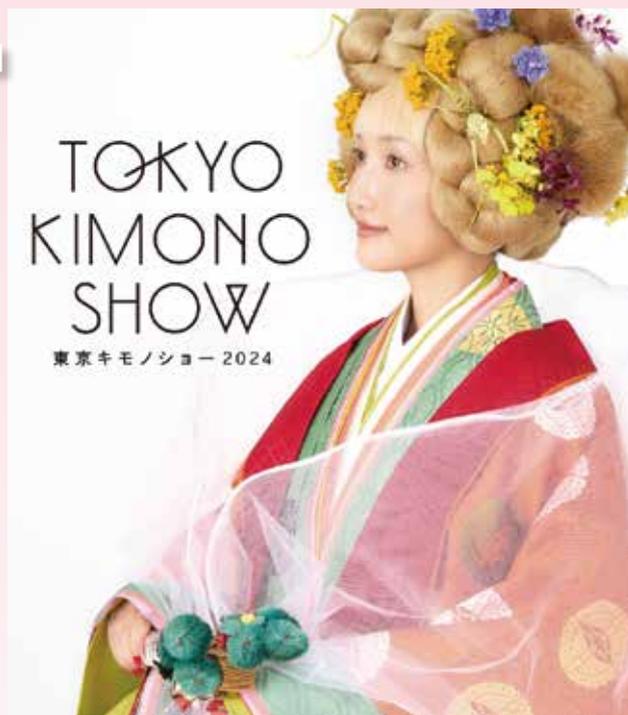


# 東京キモノショー 2024

29～31日3日間、  
20会場で同時開催



一般社団法人きもの未来協議会（中野光太郎代表理事）、東京キモノショー実行委員会（中野光太郎実行委員長）は「東京キモノショー2024」を3月29日（金）30日（土）31日（日）の3日間、東京日本橋のサンライズビル、綿商会館、田源ビル、ブルミング中西ビルの4会場をメインに日本橋人形町界隈のサテライト会場16か所、合計20会場で同時開催する。時期は桜の開花が進み日本橋はきものと桜の美の共演が見られることだろう。



Model: Kou Yoshikawa

東京キモノショーのメインコンテンツ、キモノスタイル展はサンライズビル2階のグリーンホール全体を使用し約150体のトルソーと衣箱にかけられたきものが並び迫力の場内となる。今回のテーマは「きものミュージアム平安から令和にかけての意匠の変遷」。時代の変遷の中で移り変わったきもの歴史が分かるよう時間軸に沿って展示が行われる。和マルシェは綿商会館の3階から6階の4フロアに91店が出店する。買物はもちろん各産地の生産者や作家とコミュニケーションが取れる貴重な場でもある。



ステージイベントはブルミング中西ビル2階で開催。和マルシェ出展メゾンのショーや和の芸能、ゲストトークショーなど12ステージが用意されている。

田源ビルではワークショップが開催され、体験型のコーナーでは多くの来場者が物づくりを楽しめる。この他サテライト会場もそれぞれの趣向を凝らした会場作りで来場者を楽しませてくれる。

東京キモノショーメイン4会場の入場は入場券が必要になる。3日間使用できる入場券は前売り1200円、当日1500円。お得な前売券はホームページのTICKETボタンから購入することが出来る。



# 大大阪キモノめーかんえぼっく

4月13日(土)、14日(日)  
 グランキューブ大阪 12階  
 特別会議場で開催

第6回「大大阪キモノめーかんえぼっく」が4月13日(土)、14日(日)の2日間、大阪市北区中之島5丁目3-51 グランキューブ大阪 12階特別会議場で行われる。主催=キモノめーかんえぼっく実行委員会(大阪市中央区島町1-1-2 マルゼンボタンビル 2F(株)トリエ内、寺本幸司代表)



昨年(2023)の春の開催で過去最高の1200人の来場があり、大阪での開催が定着してきたため「かんえぼっく」。今回はさらにスケールアップを図り、ブランドショップは62社(ブランド)が集結してきもの大縁日が繰り広げられる。会場には関西のきもの好きが大集合。きもの通に限らず、ビギナーも、きものに初めて触れる人でも終日「和」を楽しむことが出来る特別な空間が用意されている。



キモノめーかんえぼっくのもう一つの楽しみはステージイベント。ステージMCはFM802の人気DJが努め、13、14日の両日ステージで出展ブランドが一押し商品を紹介するブランドトークショー、きものショーや着付けのワンポイントアドバイス、きもの談義など楽しい出し物が目白押し。

また、今年も「カジュアルお茶席」、パーソナルカラー診断やフォトブースなどが設置される。(入場無料) 問合せは「キモノめーかんえぼっく実行委員会」TEL06-6585-0335

